通し番号	４５９２

分類番号	24-1B-12-01

水稲新品種「はるみ」の栽培特性
［要約］　水稲新品種「はるみ」の生育特性は「キヌヒカリ」と同等で、玄米品質と食味は「キヌヒカリ」よりやや良く、「キヌヒカリ」と同等以上の収量性を示すが、多肥条件下ではやや倒伏し易く玄米品質が低下する。
神奈川県農業技術センター・生産技術部　　連絡先　0463-58-0333

［背景・ねらい］

水稲「はるみ」は全農・営農技術センターで育成された新品種であり、本県では産地品種銘柄に設定され、作付けされている。そこで「はるみ」の本県における栽培特性を明らかにする。

［成果の内容・特徴］

１　出穂期・成熟期は「キヌヒカリ」より1日程度遅く、「コシヒカリ」と同等である（表１）。

２　草型は「キヌヒカリ」と同等であり、稈長は「コシヒカリ」より短い（表１）。

３　収量性は「キヌヒカリ」の小肥条件化では同等～やや低く、中肥では同等～やや良い。また、多肥条件下では「キヌヒカリ」より収量が増加する（表２）。

４　耐倒伏性は「コシヒカリ」より高いが、「キヌヒカリ」より劣り、特に多肥条件下ではやや倒伏しやすい（表１，２）。

５　玄米品質は「キヌヒカリ」と同等～やや良い（表１，２）。

６　食味は「キヌヒカリ」よりやや良い（表３）。

〔成果の活用面・留意点〕

１　各地域におおける「キヌヒカリ」標準肥よりも減肥し、「キヌヒカリ」と同程度の収量を目標とすることで倒伏を防ぎ、品質向上が可能となる。

２　栽培するには現在は育成者との契約が必要である。

〔具体的データ〕

表１　生育・収量調査結果

年次 (植日)	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	玄米重 (kg/a)	対照比率 (%)	千粒重 (g)	玄米品質	倒伏程度
2010	はるみ	8.8	9.17	82.9	18.2	345	55.8	113	21.0	4.0	0.0
(6/8)	キヌヒカリ	8.7	9.17	81.4	17.2	325	49.6	100	21.2	5.5	0.0
	コシヒカリ	8.8	9.19	87.7	19.4	331	58.8	119	20.4	5.0	2.0
2011	はるみ	8.10	9.18	81.0	18.4	345	55.5	101	22.9	4.5	1.0
(6/7)	キヌヒカリ	8.9	9.17	82.2	17.1	360	54.9	100	22.8	4.5	0.5
	コシヒカリ	8.10	9.18	94.4	18.8	409	57.9	105	21.7	5.0	3.0
2012	はるみ	8.12	9.22	77.9	18.1	312	52.8	103	23.3	4.5	0.0
(6/8)	キヌヒカリ	8.11	9.21	80.3	18.0	279	51.4	100	23.2	5.0	0.0
	コシヒカリ	8.12	9.22	89.3	19.6	287	54.3	106	22.3	5.0	0.0

注）玄米品質：１(上の上)～９(下の下)　　２）倒伏程度：０(無)～５(甚)

表２　施肥反応性試験結果

試験区分	年次 (植日)	品種名	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	玄米重 (kg/a)	対照比率 (%)	千粒重 (g)	玄米品質	倒伏程度
小肥	2011	はるみ	80.2	18.2	302	50.4	101	23.8	4.0	0.0
(N:4.5)	(6/8)	キヌヒカリ	81.0	18.5	349	48.4	100	23.3	4.5	0.0
	2012	はるみ	76.2	19.1	315	46.8	94	23.5	4.0	0.0
	(6/13)	キヌヒカリ	80.2	19.1	333	49.9	100	23.3	4.5	0.0
中肥	2011	はるみ	83.9	18.6	407	58.7	111	21.5	5.0	1.0
(N:6)	(6/8)	キヌヒカリ	85.1	19.2	348	52.8	100	21.1	5.0	0.0
	2012	はるみ	80.1	18.7	349	51.2	100	23.4	4.5	0.0
	(6/13)	キヌヒカリ	85.2	19.4	341	51.3	100	22.1	5.5	0.0
多肥	2011	はるみ	85.2	19.8	409	61.0	112	20.9	5.5	2.0
(N:7.5)	(6/8)	キヌヒカリ	79.2	18.3	369	52.8	100	20.9	5.5	0.0
	2012	はるみ	80.3	20.1	405	55.9	107	22.9	4.5	0.5
	(6/13)	キヌヒカリ	79.6	19.4	330	52.1	100	22.4	5.0	0.5

注）試験区分のＮは基肥＋追肥の 10 アール当たり窒素量を表す。

玄米品質：１(上の上)～９(下の下)　　２）倒伏程度：０(無)～５(甚)

表３　官能食味調査結果

年度	月 日	調査項目 総合	外観	香り	味	粘り	硬さ	基準品種
21	1月18日	0.14	0.43	0.14	0.21	0.36	−0.4	キヌヒカリ
	1月21日	0.16	0.4	−0.1	0.04	0.28	0.0	キヌヒカリ
22	2月2日	0.24	0.2	0.16	0.24	0.24	0.24	キヌヒカリ
	2月23日	0.44	0.12	−0.2	0.6	0.08	−0.1	キヌヒカリ
23	2月15日	0.47	0.0	0.13	0.07	0.33	0.24	キヌヒカリ

注）標準食味試験法による評価法に準じ、−3（かなり不良、弱い、柔らかい）～+3（かなり良い、強い、硬い）の７段間評価で行った。パネルは、平成 21 年 1 月 18 日は農業技術センター職員 14 名、1 月 21 日は県及び農協関係者等 25 名、平成 22 年 2 月 2 日は農業技術センター職員 12 名、2 月 23 日は県及び農協関係者等 21 名、平成 23 年 2 月 15 日は県及び農協関係者等 21 名。

［資 料 名］　平成２４年度試験研究成績書（作物）

［研究課題名］　水稲奨励品種決定調査事業

［研究期間］　平成２０～２４年度

［研究者担当名］　野村　研